

令和7年度住家被害認定調査等へのデジタル技術導入に係る研究会(第1回) 議事要旨

【開催日】 令和7年8月6日(水) ※オンライン形式にて開催

【議 題】

今年度の主な取組内容について

- (1) 損傷程度の表示方法の改善
- (2) 外壁損傷率の算出機能の検討
- (3) 実際の建物での検証
- (4) 追加学習等による判定精度向上

【議事概要】

- (1) 損傷程度の表示方法の改善

◆主な発言：

○AIによる判定結果について、判定結果を1つのみ表示する方式ではなく、複数候補を表示した方が、自治体職員が判断しやすいのではないかと。

- (2) 外壁損傷率の算出機能の検討

◆主な発言：

○玄関部分や凹凸のある壁面、L字形状、出窓など複雑な形状への対応はどうか気にかかる。

○図面が無い場合等、現場で作図から始めるというのは手順が多い気がする。現場での運用をよく考える必要がある。

- (3) 実際の建物での検証

◆主な発言：

○住宅密集地域でどのような写真を撮るのか、損傷程度をどのように把握するのか等を検証いただきたい。

○外壁材(モルタル、サイディング等)の違いを考慮すべき。

- (4) 追加学習等による判定精度向上

◆主な発言：

○能登半島の住家は特徴的で選定の手間がかかると思うが、ぜひ学習素材として検討していただきたい。